

オーエフジャーナル vol.3

2018年上半期

◆工場機械の改善及び設備投資

・ドロー1号機成形位置改善工事

1号機は機械が低いので、社長の提案でオペレーターと受け手側の床を20センチ掘り下げました。成形作業時の腰への負担が軽減され、製品チェック等、一連の作業動作がし易くなりました。



・ドロー1号機搬送用ベルトコンベア

成形した製品をベルトコンベアで移動することにより、作業の簡略化、作業への負担軽減につながった。製品への傷も軽減できる。



・フォーミング15号機に研磨くん2号設置

◆6月以降の改善予定 大東工場

- ・駐輪場の拡大予定

◆6月以降の改善予定 本社工場

- ・ドロー8号機制御盤および操作盤関連工事
- ・ドロー8号機テーブル制御盤製作、配線工事

社員の誕生日祝い

誕生日祝いは今までケーキでしたが8月から役員との昼食会、プラス1時間休憩を実施します。

緊急速報

OF工業のCMが、ラジオ大阪にて毎週木曜日17時40分から放送中！要チェックや!!

品質管理の展望

特定の得意先でのクレームが集中し、先方の担当者からも過去に比べて品質の低下度合いに懸念の声があげられており、今後の取引も含め大変憂慮される事態に陥っている。例えば、図面寸法が守れない、形状不良、梱包結束不良、長さ寸法不揃い、汚れなどであり、これが一社に集中して発生する事態となった。これに鑑み、信頼性担保のために基礎的な図面寸法の順守、長さ寸法の均一化、梱包仕様書の標準化の徹底が望まれる。このため、品質管理においては成型検査報告書の拡充・品質専用図面作成に取組むことにより、承認図の確認と寸法公差内成型を行う様、一点一点精査を行っている。なお、進捗状況についてはパイプ系100%、フォーミング系7割程度であり、ドロー1号機分を始めていくところである。





営業現場の展望

ステンレスの需要が減ってきている中で我々がすべきことは、製品の品質を上げ、営業の細やかな対応を心掛け、今のお客様の信頼強化に務めると共に、新規のお客様獲得にも注力していかなくてはならない。今後は他社製品の販売や、新商品の発掘などにも力を入れ、若手営業マンを中心にフットワーク良く他社との連携を図り、売り上げアップに励んでいきます！

経理の展望

今後は今まで以上に課内や工場との連携を深めていきたいという事もあり、課内では週1回意見交換の場を設けて、ビジョンの共有に努めたり、予定管理を行っています。業務改善としては今現在、会計システムがひとつしかないため、ふたつに増やして作業の効率アップを図っていく予定です。経理課と言っても総務や人事も兼ねた課なので、今後も様々な取り組みをしていきたいと考えています。社員皆様からの意見や要望が有りましたら是非聴かせてください。

2018年度 新入社員・パート

氏名:	大坂 勝廣	氏名:	斉藤 隆二
所属:	本社製造部	所属:	本社製造部
趣味:	釣り 	趣味:	釣り、競馬 
抱負:	一人でも多く技術で抜いていきたいです！	抱負:	一日でも早く仕事に慣れるよう日々精進していきます。
氏名:	若林 真名美	氏名:	桑原 裕希
所属:	大東二次加工	所属:	大東製造部
趣味:	漫画を読むこと 	趣味:	釣り、筋トレ 
抱負:	知識や経験はまだまだ足りませんが、足手まといにならない様頑張ります。	抱負:	働く先輩方の技術を吸収し、一人前のオペレーターになれるように頑張ります。

社内行事

◇2018年4月6日 嵐山日帰り旅行

日頃の皆さんの頑張りの甲斐があり、今年は日帰り旅行が開催されました。あいにくの雨模様となった保津川下りであったが、わずかに残った桜や、周りの山々、溪谷の美しさを存分に満喫することができました。また、川下り中に尿意を訴え、船上から用を足した破天荒な社員が居たとか居ないとか…様々な意味でスリリングな川下りとなった。昼食時には大東工場研磨工程に係る方々の表彰式や、日野主任の入籍発表などのサプライズもあり、大いに盛り上がった。昼食後の自由散策、月桂冠大倉記念館見学も満喫し、大成功で幕を閉じた日帰り旅行。今後も来年、再来年と続く恒例行事となるのも良いのではないのでしょうか。



両社担当者の親睦会



6月14~16日まで、海外の担当者の方々が来社されました。海外において鉄道車両などを生産している、メーカー向けに、5号機で製作しているローラートラック(電車のドアレール)についての打ち合わせで来日。打ち合わせも上手いきき、食事会も盛り上がりしました。

人事

5月1日 竹田課長 昇格
5月1日 日野主任 昇格
5月1日 碓井さん 正社員



社長から

土曜全休制のテスト結果を踏まえ、来年度の生産体制を見直していきます。また、役員から工場移転の話が上がっているため、それに向けての下準備に入ります。